

愛知県保険医協会 学生会員ニュース No.63

発行：愛知県保険医協会

住所：〒466-8655名古屋市昭和区妙見町19-2

TEL：052-832-1345 FAX：052-834-3512

ホームページ <https://aichi-hkn.jp/> e-mail aichi-hkn@doc-net.or.jp

【学生会員のみなさんへ】

コロナ対策で夏でもマスクをする機会も増え、今年は、暑さ対策も工夫が必要になりますね。熱中症には気をつけましょう。

今回は保険医協会勤務医会員を対象に行った「新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う勤務医の労働実態・意識アンケート」結果について取り上げました。ぜひご覧ください。



コロナで8割が精神的な負担増

保険医協会勤務医の会では勤務医会員を対象に「新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う勤務医の労働実態・意識アンケート」を6月に行いました。返信は190通。回答者を内科・歯科別で見ると内科が144人、歯科が44人、診療科未回答2人でした。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大前に比べ勤務の負担感を聞いたところ、「精神的な負担が重くなった」が107人(56.3%)と半数を超え、「身体的にも精神的にも負担が重くなった」は44人(23.2%)でした。精神的な負担が増した人は151人(79.5%)とほぼ8割に上りました。

「暴露リスク常に」、「感染対策もでき成り立つ医療制度に」

負担を感じる人に負担や不安を感じる点を聞いたところ、最も多いのは「自身・家族への感染の恐れ」で130人(81.3%)でした。

「COVID-19を受け入れる病院以外も常に暴露リスクにさらされています。小さい子供と医師の夫と暮らしており、絶対に自分が感染するわけにはいきません。感染対策のための資源不足がおきないような対応をしていただきたいです」などの声が寄せられました。

次に多いのは「患者減による病院運営や雇用不安」94人(58.8%)、「収入減少」53人(33.1%)。「発熱患者は全てコロナを疑って対応しないといけない為、感染防御対策に手間も費用もかかる」「きちんと感染対策もでき成り立つ(医療)制度にしないといけない」との声も寄せられています。その他、アンケートでは、検査体制や発熱外来・入院施設の不十分さの意見も寄せられました。

今回の教訓を生かし医師・歯科医師が、安心して診療に集中できるような体制へ改善が求められます。勤務医の会では、今回寄せられた意見をもとに改善を求めています。

図1) 負担や不安を感じる点(複数回答あり)

	人数	割合
自身・家族への感染の恐れ	130	81.3%
患者減による病院運営や雇用不安	94	58.8%
収入減少	53	33.1%
業務量・事務量の増加	39	24.4%
周囲からの医療者への風評被害	36	22.5%
長時間労働など労働条件の悪化	9	5.6%

※割合は回答者中その項目を選択した割合

